

連載小説／第三回▽

■第16回神戸文学賞佳作■

南蛮寺門前町別れ坂

田吉 義明

え・大橋良三



龍之介は、伝習の為に教会の工房に向向いて来る際は今日のように、いつでも教会の石段を麻耶と二人で登ることが出来ればよいと心ひそかに願った。彼は、都合よく石段の下路地で麻耶と出会うように、要領よく己の屋敷を出る時刻や、途中の時間の取り方を工夫してみた。そのせいかどうか、龍之介が工房に向向く際の三、四回に一度か、運がよい時は、二度、三度続いて、教会の下路地で麻耶と出会うことができるようになった。龍之介はそのことを麻耶に話しはしなかったが、もしかしたら、彼女の方でも、自分と同じように、子どもじみた出会いを期待しているのではないかと、龍之介は身勝手なことを考えてみたりした。

登る途中、石畳の踊り場がある数十段の石段を上る寸刻の間に、男女間の色めいた話をするでもなく、麻耶と肩を並べて歩き上げるだけのことである。天候の話し、お互いが各々伝習している弟子たちのことを話す時もあるれば、二人とも殆ど無口で石段を登り終ってしまうこともあった。しかし、どんなに口数が少なかって、石段を登ってしまった時、「ああ、登ってしまった……」

と口に出して言うことだけは、いつか、二人の共通した言葉になっていた。

「ああ、登ってしまった……」

と言う言葉を出して微笑し合いながら、礼拝堂の入口の十字架の下で二人は左右に別れるのである。

男女別の伝習の合間や、協同で進められている壁画の作業の打合せなどで、龍之介と麻耶は職人たちを含めて教会内の何処かで顔を合わせる機会も生じることもある。一寸とした成り行きで、礼拝堂や作業場で、龍之介と麻耶は二人きりで顔を見合わせることもあった。

勿論、それは、お互いに仕事上のことではあった。しかし、そんな時、麻耶は大きな眼で龍之介を見えるような表情をしてみせた。

麻耶の瞳は、時としては、外からの他の光をはね返すように輝き、また時としては、逆に外の光を吸い込んで

しまふ底のない池のような神秘さを示すこともあった。龍之介はそんな麻耶の眼差しに遇うと、射すくめられるような気持を覚えたり、あるいは彼女の眼の中のにめり込んでしまふ心地になるのだった。

主君甚左衛門純景や、大殿大村純忠公に仕え、幾度もの修羅場をくぐって来た俺としたことが、女一人の眼にたじろくとは何としたことかと、龍之介は自戒自省しようとしてみえた。

龍之介はある日、伝習生たちの雑談の中から、花の童という町茶房に麻耶の南蛮絵が飾ってあることを知った。

茶房花の童は、外町の東のはずれの立山の丘の裾にあることを知っていたが、龍之介はそこに立ち寄ったことはなかった。

立山の丘の中腹には、山のサンタ・マリア教会があり、その主任修道士の人望の厚いことから、信者の数も多いことは領内でも知られていることだった。花の童には、信心深い老若男女たちが、教会への行き帰りの際、一服するためによく立ち寄っているようであった。だからといって、茶房は大袈裟な構えではなく、間口も小さく、のれんも大して目立たない、文字通り花の童と言いたい小さくて素朴な茶屋である。

龍之介は、領内の巡視として花の童を覗こうと思えば何時でも訪れることはできるのだが、他の職務が重なってなかなかその機会はなかった。それに彼は、麻耶に黙って彼女の絵画を見に行くのは何か後ろめいているように気が咎めた。龍之介は教会の伝習作業室で偶々麻耶と二人だけになった折、そのことを彼女に断わった。

「茶房の花の童に飾ってある麻耶どのの南蛮絵、いつの日か拝観に行ってもよろしいかの」

龍之介が尋ねた時、麻耶は、

「お恥ずかしい、西村さまに、とてもご覧になっていたけるようなものではございませんわ……」

と言いながらも、龍之介が、花の童に向向くことをあらかじめことわったことについては嬉し気に微笑して答

えた。

龍之介は早々に花の童を訪れるつもりが、館の勤めが何かと重なる、つい何日かが過ぎてしまった。それに、龍之介は、麻耶が描いた絵を見に行くことになんとかなく面映きもあって気がねしていたことも事実であった。

そんなある日、領内の巡察の合間のふとした機会に、龍之介は馬丁の祐太を伴って花の童に立ち寄ることが出来た。祐太が何回か茶飲みに寄ったことがあるということが、龍之介に花の童ののれんを潜る心安さを覚えさせたのである。城代家老とも言える龍之介の初めての訪来に驚いている女主人の相手は祐太にまかせて、龍之介はじっくりと、麻耶が描いた南蛮絵を見た。絵には、青い日、という画題がつけられていた。南蛮絵の具の紺一色を用いて、空、雲、海、そして鳥を描いた風景画であった。それは、紺の絵の具で、濃淡と形を気儘に塗り込めたようにも見えた。

龍之介は、紺一色で画かれた絵を見ているうちに、麻耶の大きな眼を思い出していた。

それは、昇る朝日のように輝き、ある時は果てしない憂愁を感じさせ、またある時は、両肩を抱き寄せて揺さぶってやりたい程、焦点の定まらない、空虚なものを訴えているような弱いものを感じさせた。

不思議な魅力を持った絵だと龍之介は思った。彼は、同伴者の祐太がいることも、茶を飲むこともしばし忘れて、青い日という麻耶の絵に見入った。不思議と言えば、紺一色で画かれた麻耶の絵がある壁だけ、真新らしい白で塗り分けられていることだった。

茶房花の童に行った翌日は龍之介はセミナリヨへ出向く日であった。彼が教会の下の方の石段の前まで来た時、幸運なことに、申し合わせでもしたように、麻耶とばったりと出逢った。朝の挨拶のあと、二人は黙って石段を登り始めたが、石段の途中の踊り場まで来た時、龍之介は、前日、花の童を訪れて麻耶の絵を見たことを話した。「あら、お恥ずかしい、やはりご覧になられたのでござ

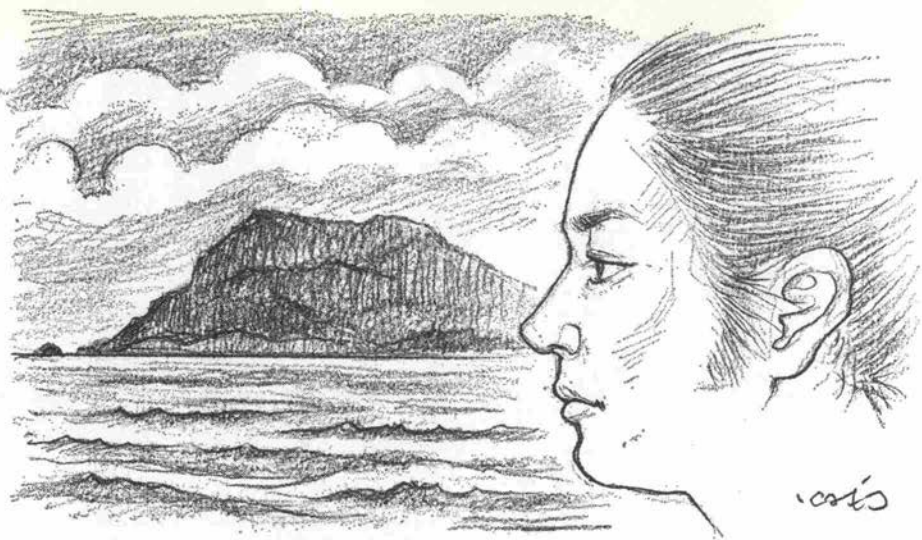
いますか……」

麻耶は立ち止まり、龍之介の方を振り返って恥ずかしそうに肩をすぼめ、体を少しくねらせて言った。それはまるで、自分の体の一部でも覗かれたような含羞み方であった。しかし彼女の瞳は、喜びで生気に満ちた輝きを示していた。彼女は、画題が青い日という紺一色の絵を飾る背景は、白一色が最も相応しいということで、絵心のある茶房の女主人が、あの絵だけのために壁の一面を白く塗ってくれたことなど話してくれた。龍之介が彼女の絵を鑑賞に行ったことが余程嬉しかったのか、麻耶は、踊り場から上の石段を弾むような足どりで登った。

龍之介には、そんな麻耶が童女のようにいとしく思われ、思わず肩を抱いて石段を駆け登りたい衝動を抑えていた。石段を登り終って、それがもう合言葉のようにになっている、登ってしまった……、という言葉の口に出した時、麻耶は石段がまだあればいいのに、とでも言うように、二度、三度地団駄を踏んでみせた。石畳を踏んだ彼女の下駄の音は意外な程大きく響いた。それがまた恥ずかしかったのか、おかしかったのか、麻耶は照れかくしのように、もう一度石畳を踏んで笑った。

教会の玄関の上の二階の窓が開いて、アロイジオ岡島の上半身が見えた。彼は窓の内側から、麻耶と龍之介が石段を登って来ていたところを見下しているのに違いなかった。彼は二人を見て、ポルトガル人のパードレが時折するように、両手を広げて大袈裟に肩をすくめた。気障な奴だと思ひ、龍之介は年甲斐もないと知りつつ、反発するように、アロイジオ岡島よりも大きく両手を広げて肩をすくめて見せた。龍之介の所作が滑稽に見えたのか、麻耶は片方の袂で口をおさえて、女子工房の方へ小走りに姿を消した。

龍之介は、自分が麻耶の大きな瞳の中に落ち込んでいくように、彼女に対する情愛が深まっていくことに節度を保たねばならないと自戒しつつ歩いていた。



麻耶の不思議な雰囲気魅せられていく己にけじめをつけるには、彼女との間に一定の時間と距離を置く必要もあるのではないかと考えた。そのような龍之介の胸中を見抜いたのかどうか、主君の純景は七月のある日、龍之介に大村方面に一月ばかりの出向を命じた。激動している情勢の視察である。長崎甚左衛門純景の妻トラは大村純忠の息女であったことから、長崎家と大村家は

姻戚関係にある。その大村家は、純忠公の逝去以来、このところ領内の統治だけではなく、一族の結束にも苦慮する問題が生じ、周辺の諸勢力との対応にも懸念される情勢も生じている有様であった。この数十年、大村家と連携と言うよりもむしろその傘下にあつて勢力を依持してきた長崎家にとっては、大村家の問題は自らの存在にかかわる重大な問題であつた。長崎甚左衛門純景は、義父の純忠が没して以来の世相の流れを見て、既に長崎家の存亡もしくは自分自身の去就についても胸中決するものがあるのではないかと龍之介は感じとつていた。お頭純景の苦衷を知りながら、己だけの全く別の問題である麻耶という女に心を動かしていることがあるとは、なんたるだらしなさよ、龍之介は己の身勝手な心の中を恥じた。

大村純忠の没後およそ一月の後、秀吉によるキリシタン禁止令が発せられ、キリスト教を奉信する藩主をもつ領内は殊の外緊張と不安な状態になった。長崎の西坂の丘で二十六人の信者が処刑されるに及んで、近隣のキリシタン大名とその領内の動揺は著しいものがあつた。だが、秀吉は、西坂の丘にみるような極刑の強行をしながら、また一方では、有力キリシタン大名に対する思惑や、身辺最近な側近者のキリスト教奉信者の存在に対する配慮も欠くわけにはいかなかった。また、朝鮮出兵に伴う経済下降の立て直しの為、キリシタン国との通商の必要性もあつた。そこで秀吉は、禁止令は出したものの、当面、その運用には気まぐれともみえる硬軟両方の施策を用いたのである。しかし、秀吉が没して彼に代つて天下をとつた徳川家康は、当初は真綿で締めるようにしながら、加速的に且つ全面的にキリシタンを排除する気配を示していた。

父大村純忠の後を継いでキリシタン大名であつた喜前とその一族は、キリシタン排除を指向する幕府の権力と、キリシタンの勢力を堅持、拡大を狙うイエズス教会の狭間にあつて苦慮し動揺していた。

龍之介は大村家の家老大村左之衛門次郎を訪ねた。左之衛門と龍之介とは幼なじみでもあり、お互いに信頼し合い、常に、長崎、大村間の情勢交換をしている間柄である。龍之介は左之衛門と懇談し、また、藩主喜前公にも謁見を許され、諸般の情況をも交換することが出来た。龍之介は彼等との面談の結果、大村喜前は、大村家を存続させ、領民の生活を依持するためには、キリスト教を棄教し、仏教に改宗するであろうことを推察できた。更に彼は人心を知る為、大村領内一円を巡回した。

大村家一族の中には、キリスト教を棄てることへ強く反対する者もあり、また、布教の大きな地盤である大村領主の改宗を恐れているイエズス会の手先と思われる者の動きがあることを領民たちは噂していた。

龍之介は巡回をしている間に、どういふわけか、幕府方の隠密か、あるいはイエズス会派のまわし者かと思われる不穏な影から尾行されることもあったが、不祥な事件までには至らず、九月の初旬には長崎の館に帰還することができた。

大村、長崎の領内の巡回より帰って、龍之介はおよそ二か月振りにセミナリヨへ出向いた。

久し振りに会った麻耶は、更に初々しく、またより艶やかで神秘的に見えた。

龍之介は、麻耶に傾斜している己の心情に堰堤を築き、彼女との間にこれ以上の情愛の深みをつくってはならぬと胸に決めた。その決意を己自身に示す為、伝習の日には心を冷やかにして教会の石段を登ることにした。

九月も終わろうとする頃、長崎家と昵懇のある対岸の黒州郷の郷長九郎次の母が亡くなったことが伝えられた。九郎次一族には、領内の巡察や国境での合戦の折など、純景側はひとかたならぬ世話になっている有力な郷長である。

折しも龍之介の主君純景は、支配地の所領問題で、幕府方の代官と面談せねばならない重大な要件があった。龍之介は純景の名代として九郎次家の葬儀に出向くこと

になった。

偶然にも、麻耶の母方と九郎次の妻方とは縁があり、麻耶は老母の代りに葬儀に参列することになっていた。龍之介は祐太を伴って、港湾の陣屋の小型の屋形舟で対岸に赴くことにした。他の舟で渡る予定にしていた麻耶も龍之介の舟に便乗することになった。外にも、黒州郷の葬儀に向かうものと思われる舟影が幾つか眺められた。

港を囲むように聳えている山々は、雲一つない青空にくっきりと映えていた。紺碧の水面には、小波さえもなかった。祐太は櫓の方で船頭の伍兵衛と何やらしゃべっていた。龍之介と麻耶は船先近くに座り、慢然と周囲の景色を眺めていた。龍之介は殆ど無言であったが心楽しかった。彼の脳裏では、自分たちが乗っている舟が龍のように空を昇って天国へ行けたらとか、あるいはこのまま何処か最果ての島へ流れて行って、己と麻耶の二人だけの生活ができたら如何であろうと、途方もないことを空想していた。沈黙がつづくことに、むしろはにかみを覚えたのか、麻耶は遠慮がちに少しづつ、龍之介が今まで聞いたことがなかった彼女の生い立ちを語ってくれた。

麻耶は平戸から更に海を遠く隔てた対馬の生れであった。彼女の家は代々、対馬の地頭である宗家から手形を許されて商いをしている豪商である。商いが拡大するにつれて、肥前の各藩にもはたらきかけ、松浦家の平戸、大村家の横瀬の浦などにも足場をつくり、長崎にも進出して来たのである。麻耶の父親は商いのために新しい土地へ進出する度に、彼女を連れてまわって、とうとう、長崎まで来たのである。幼児時代を対馬の府中で育った麻耶は、もの心ついた頃は平戸で暮らし、そこではポルトガル人から南蛮絵の画法を教えられたのだった。それから何年か後、二十歳を過ぎてから大村領横瀬の浦に南下した時は、当世では希有な南蛮絵師として重宝がられるようになっていた。

□第17回

神戸文学賞作品募集

本誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞・神戸女流文学賞を創設いたしました。第11回の募集より、さらに質の向上をはかるため「神戸文学賞」の名称に統一、受賞作を一作品として、現在、広く作品を募集いたしております。第11回以降の受賞作は左記の通りです。

- ・第十一回「願父記」(田能千世子―茨木市)
- ・第十二回「夢食い魚のブルーグッドバイ」(釜谷かおる―高砂市)
- ・第十三回「お夏」(門田露―西宮市)
- ・第十四回「風車の音はいらない」(上田三洋子―長岡京市)
- ・第十五回「渴き」(刀禰喜美子―大阪市)
- ・第十六回「香水はミス・ディオール」(白石美保子―今治市)

ここに第17回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項▽

- 一、応募作品は小説とし、応募資格は問いません。ただし応募作品数は一篇に限ります。
 - 一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。
 - 一、原稿枚数は四百字詰60〜70枚。ワープロ原稿は四百字詰に換算した枚数を記入のこと。
 - 一、原稿には住所、本名(筆名)、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品梗概を必ずつけて下さい。
-
- 一、締切りは平成四年八月三十一日(当日消印有効)
 - 一、受賞作品発表は本誌平成五年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。
 - 一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。
 - 一、受賞作品の著作権は本誌に属します。
 - 一、受賞作品には副賞として賞金三拾万円が贈られます。
 - 一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一―三の一 大神ビル九階 月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
- 電話〇七八―三三一―二二四六

主催／月刊神戸っ子

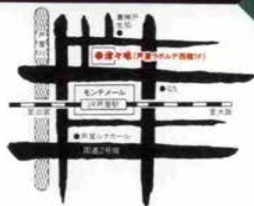
新神戸オーパ3F



美味を開き、美味を渡す。
これぞ津々味。

海老・魚料理
津々味

芦屋・新神戸



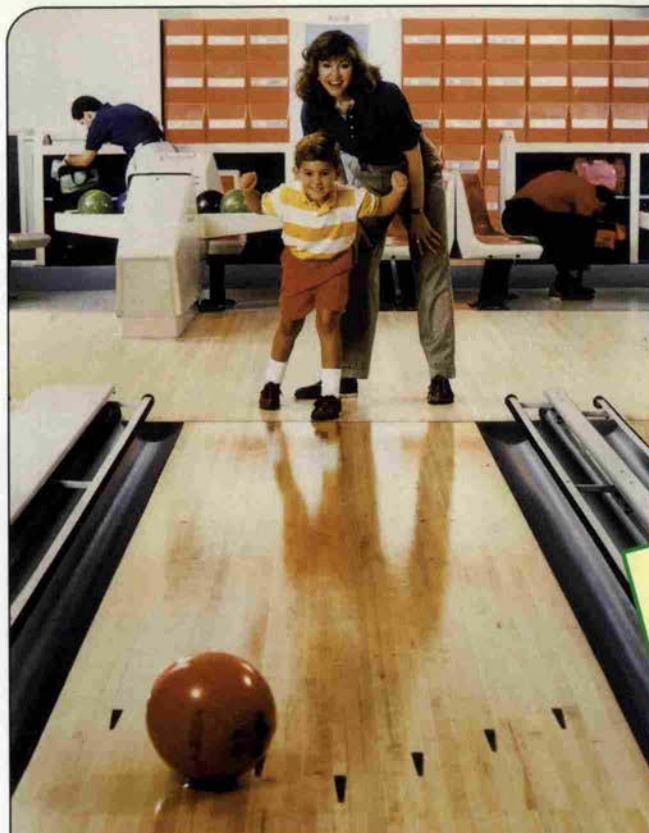
芦屋市船戸町2-1-108号〈芦屋ラポルテ西館1F〉

☎(0797)34-3581



神戸市中央区北野町1
〈新神戸オリエンタルパークアベニュー3F〉

☎(078)262-2818



アメリカでも大好評のバンパーボウリング

17
seventeen ice



セブンティーンアイスクリーム

プレゼント キャンペーン

8月31日(月)までの期間中に7番-10番の
スプリットができれば、アイスクリームを
プレゼント。くわしくはフロントまで。

9/30(水) OPEN!
バンパーボウリング

ガーターがでない仕組みになって
いるバンパーボウリングなら、ヨ
チヨチボールもピンに当たります。
この秋、グランド六甲に登場する
子供に夢を与えるボウリング——。
ご家族揃って、ぜひご来場下さい。

AMF100L「ADVANTAGE PLUS」

Grand Rokko
グランド六甲
ボウリングセンター
☎078(841)3151代

- 営業時間 9:00~24:00
(金・土曜日、休前日)
(9:00~午前2:00)
- 年中無休
- 駐車場 180台



神戸のうまいもとドリンキング

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
布引店 ☎232-2400 三宮店 ☎332-3003 住吉店 ☎453-3737
兵庫駅前店 ☎575-5306 ポーアイ店 ☎303-1186
ボーアイプラザ店 ☎303-3232

和食くれない
三宮生田新道両側中央K Cビル2F ☎331-0494

たこ焼たちばな
三宮センター街(旧柳屋) ☎331-0572

民芸食事処 五事
炭焼ステーキ
元町3丁目山側 ☎391-3156

炭焼やきとり トリドリ
中央区北長狭通2-5-1 ☎391-3028
ダイシンサンセットビル2F

どじょう 吾作
中央区元町通2-7-20 ☎321-0539

季節茶屋 一輪一房
中央区三宮町1-8-1 ☎331-2280
さんプラザB1F

天ぷら 天ふじ
中央区下山手通2-11-24 ☎392-3630
大金ビル1F

SAKE & KAI SEKI 喜兵衛
中央区山本通2-1-1 ☎242-5411
コーナートハウス2階

蟹土料理 千石船
さんちか店 ☎391-4875
千石船・山手店 ☎392-3854

うどん・和菓子 ちから餅
トアロード店 ☎331-3250
垂水店 ☎707-4466

日本料理 けごん
中央区加納町4-7-24 ☎391-0266

天婦羅 藤はら
神戸市中央区元町3-6-14 ☎331-3373

おでん 藤吉
中央区北長狭通1-21-2 ☎392-7321
サンメイルビルB1

日本料理 西村屋
神戸市中央区磯上通7-1-20 ☎232-3663

日本料理 西村屋 熊内茶寮
神戸市中央区熊内町1-8-23 ☎231-6767
グランドール熊内B1F

日本料理 海舟
神戸市中央区山手通1-7-8 ☎331-2924
格子屋ビル1F

生そば・寿し 丸万
中央区中山手通1-27-11 ☎231-7291 ☎221-8379

料亭・ラウンジ 北野異人坂
中央区北野町2-9-22(三本松不蘭地) ☎222-2001

日本料理 かじき
中央区中山手通4-2-2 ☎332-6029

にしんそば 松葉
中央区下山手通2-1-13 ☎322-1555
第13シャルマンビル2F

テーブル割烹 美食倶楽部
中央区北野町1丁目 オービスF ☎262-2800

会席・鍋物 槐家
一品料理
中央区下山手通2-17-10 ☎331-2575
ライオンビル三宮館1F

四季の味 真紗
中央区加納町3-2-8 ☎392-0670
ニュー加納ビル1F

活伊勢海老料理 中納言 新神戸
中央区北野町 O P A 3F ☎262-2882

★各国料理
Meat in 帝 (MIKADO)
中央区下山手通2-4-13 ☎333-8801-3
高山ビル1F

ステーキハウス グリル 青山
中央区下山手通2-14-51(トアロード) ☎391-4858

スキャンナビ料理と世界の民衆音楽の店 ゴックスタッド
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎242-0131

ステーキ ラウンジ 果林
神戸アラザホテル2F(元町駅南) ☎331-4558

すていきハウス 長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎221-1086

メキシコ料理のお店 ティファアーナ
中央区山手通1-21-13 ☎242-0043
パールコーポラスビル1F

フランス料理 ビストロドゥリオン
中央区山本通2-13-6 ☎221-2727

レストラン 三光
中央区北長狭通2-8-6 ☎331-0226・321-5661

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎331-2108

ステーキハウス コウベ
中央区北長狭通1-2-3 二鶴ビル3F ☎332-6685

フランス料理と神戸ビーフ レストランブック
フランス風 夢香亭
中央区栄町通2-9-11 ☎321-3453
☎321-3207・332-4129

韓国料理 百済
中央区下山手通3-1-9 ☎392-5458
コスモビル1F

ワインレストラン ロータ・ローゼ
中央区北野町4-9-14 ☎222-3200

韓国宮中料理 鳳仙
中央区北長狭通1-6-10 ☎391-2147
ニューキャスルビル6F

シルクロード料理 スパイスレストラン
中央区下山手通2-17-10 ☎331-2575
ライオンビル三宮館1F

神戸ビーフ登録指定店 三田肉流通振興協議会指定店
中央区中山手通1-24-1 ☎222-0678
ビルサイドテラス1F

フラメンコとスペイン料理 エル・パンチョ キタノ
中央区北野町3-2-4 ☎241-1344
アムール・マンション1F

中国料理 萬壽殿
中央区中山手通2-20-4 ☎231-4531

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎241-6952

SAPORO BEER RESTAURANT ニュームンヘン神戸大使館
三宮生田ロード ☎391-3656

ステーキハウス 伊藤
中央区御幸通7-1-20 ☎232-3031
大信ビル8F

炭焼ステーキ フランス料理 GOONY KITANO
中央区北野町2-17-18 ☎242-2562
リズギャラリ

ステーキ・夜ドリンクス 神戸館
中央区下山手通2-1-13 ☎321-2955
第13シャルマンビル2F(東急ハンズ南)

広東料理 神戸元町別館牡丹園
元町通1丁目協和銀行北側小路西入る ☎331-5790・6611

かに専門店 Seafood Crab
北野町1丁目 オービス3F ☎262-2253

中国料理 花咲く街角
北野ハンター坂店 中央区中山手通1-27-8 ☎261-8739
藤原台店 神戸市北区藤原台北町7-4-1 ☎981-1100

とんかつ 縦焼ステーキ かも
中央区北長狭通2-12-13 生田町 ☎331-0372

広東料理 TEITE(ティテ)
トアロード店 ☎333-6888 南店 ☎321-3332

フランス料理 D E N
中央区山本通1-7-11 ☎222-5708
コーナートハウス D O 5F

インド料理 シャミアナ
中央区山本通2-3-14 ☎222-1722

★喫茶・菓子 ちばな
中央区元町通3-9-2 ☎391-1051

サロン・ド・ティ カレット
元町一番街 ☎321-1739

カフェ・ド・ラセール
新聞会館1F ☎221-8155

ケーキ&喫茶 アンテナール
北野本店 中央区中山手通1-22-13 ☎242-3797
神戸店 中央区北長狭通1-10-6 ☎331-8640

LE CAFE ガレ
中央区山本通2-3-14 ☎242-7144

宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店 中央区中山手通1-26-3 ☎221-1872・231-9524
三宮店 J R三宮駅山側 ☎241-2777
センター街店 中央区三宮町10-27 ☎391-0669
北野店 山本通2-1-20 ☎242-2467
(金島ビル)3F 事務所 ☎242-1880
阪急 三宮東口山側 ☎332-5727

珈琲 モーツアルト
中央区山本通2-6-11 ☎241-3961
グランドマンション1F

喫茶館 英國屋
神戸国際会館南側 ☎251-4562

喫茶館 英國屋
三宮センター街3丁目 ☎391-9006

喫茶館 仏蘭西屋
三宮 フラワーロード(神戸市役所前) ☎232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮 フラワーロード(神戸市役所前) ☎251-3231

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎222-3535

純喫茶 元町サントス
中央区元町通2-3-12 ☎331-1079
元町通1番街南側

炭火焙煎珈琲 珈琲倶楽部
神戸市中央区北長狭通1-10-6 ☎332-2016
(生田町)ムーンサイトビル1F

炭火焙煎珈琲 コンロン・カフェ
神戸市中央区東井通4-2-2 ☎261-1771
神戸いすゞビルコートビルB1

Salon & Cafe BLUE MOUNTAIN
神戸市東区八幡町4-6-16
阪急六甲駅下車南口西南約3分

フルーフショップ ベニマン
フルーフバー 神戸市中央区北長狭通4-3-24 ☎331-8584

コーヒーショップ CARAT(キャラット)
阪急三宮駅東出口山側 ☎331-5141
白鷺ビル3F

炭火焙煎珈琲 カフェ・ド・パーク
神戸市中央区山本通2-14-26 ☎331-3671
クラタ11号館2F

★CLUB
C L U B N E N E
中央区北長狭通1-5-9 ☎331-4143

サロン コート・ダジュール
中央区中山手通1-22-113 ☎222-7222
ビルサイドテラス4F

c l u b 飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎331-7627

c l u b 小万
中央区東門町中島ビル3F ☎391-0638・4386

c l u b なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎331-8626

クラブ るらん
中央区中山手通1-3-1 ☎331-2854

c l u b コトブキ
中央区三宮本通り ☎331-1875

C L U B 伽羅
中央区中山手通1-5-6 ☎332-0022
あざみビル1F

C L U B あざみ
中央区中山手通1-5-6 ☎332-0022
あざみビル2F

C L U B 彩
加納町4-8-7 F B Iビル6F ☎392-0156

C L U B 神戸倶楽部
神戸市中央区加納町4-7-11 ☎392-3719
バレー北野坂ビル2F

ベテシリアダー かけい
中央区下山手通2-1-13 ☎332-2239

クラブ 禿
中央区北長狭通1-5-8 ☎332-3006

★STAND & SNACK
レストランBAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎351-4311

ジャズライブ レストラン ソネ
中央区中山手通1-24-10 ☎221-2055

ジャズライブ アルパトロス
中央区中山手通1-22-10 ☎231-3300
大和ナイトプラザ2F

プッシュンソン エトワ
音楽の家 中央区三宮町3-8-12 ☎332-1755
神戸トアロード三宮センター街
西入口スカイトアビル3F

スナック 雅子
中央区北長狭通1-5-9 ☎332-0051
K Cビル3F

レストラン トム・キャンティ
中央区下山手通2-11-5 ☎331-2122
神戸ワシントンホテル1F(年中無休)

カクテル サヴォイ
高瀬川 テキの店北 ☎331-2615

ミュージック サントノーレ
トアロード店 中央区下山手通2-11-5 ☎391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 ☎221-3886
大和ナイトプラザ6F

スナック トスカ
中央区北長狭通1-20-2 ☎391-3930
阪屋ビル2F

素舌洞 でっさん
中央区北長狭通1-5-12 ☎331-6778

STAND マシュケナダ
中央区中山手通1-4-6 ☎391-5587
ユーベルビル4F

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10 ☎242-0288
大和ナイトプラザ1F

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田町)
スーパーステーション ランダムハウス45rpm
虎虎坊 珈琲 エスカイクラブ

スタンド かてな
中央区中山手通1-7-10 ☎331-1316
高瀬ビル1F

スナック アダルト
中央区北長狭通1-20-2 笹原ビル5F ☎321-5885

韓国スナック 世宗
中央区北長狭通1-6-10 ☎392-1727
ニューキャスルビル3F

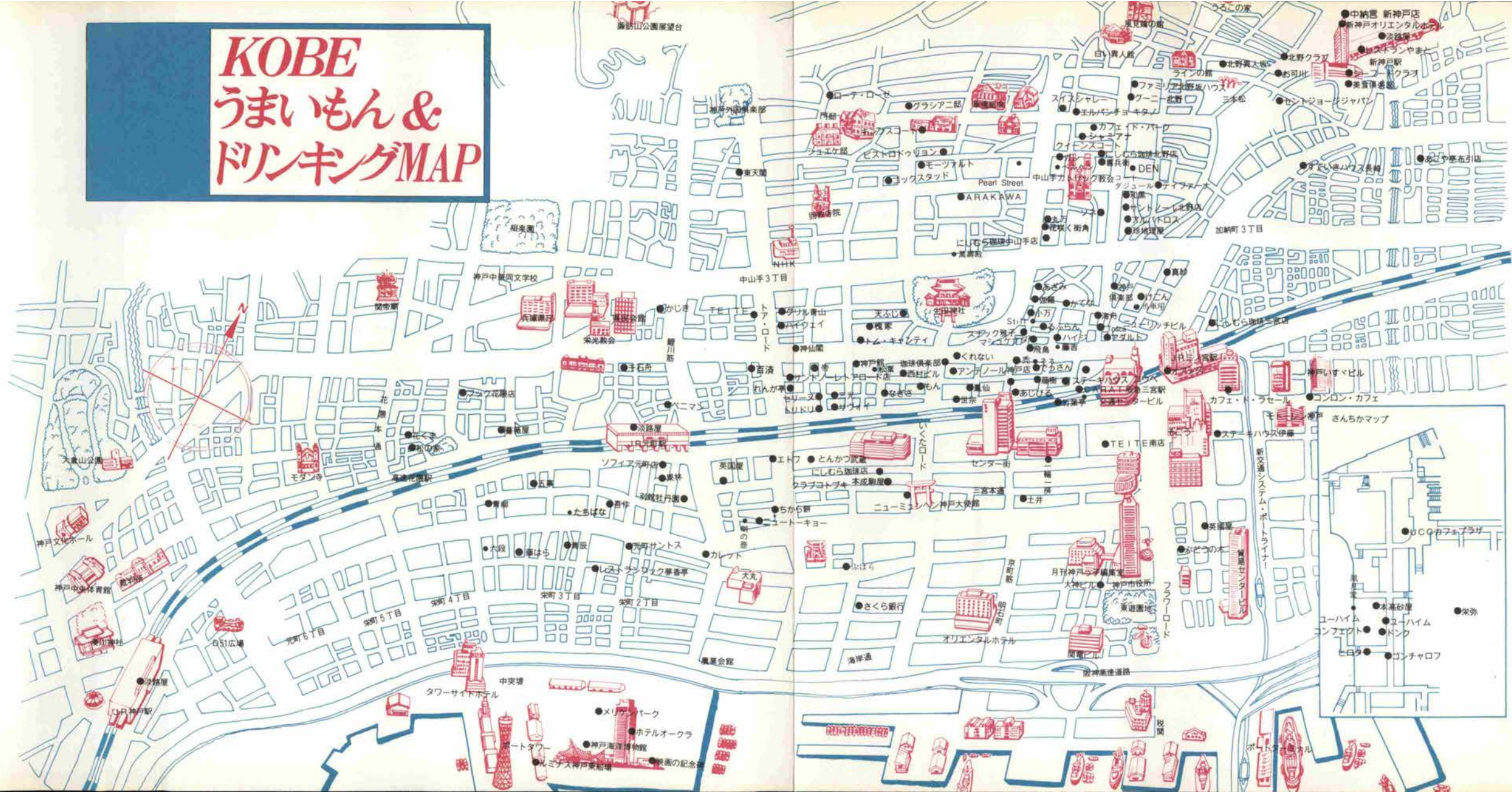
スナック オアシス
中央区北長狭通1-9-17 ☎333-1946
三宮舞臺ビル4F

お酒処 藤樹
中央区北長狭通1-5-1 ☎322-1974
大山ビル6F

カクテルバー 馬車屋
中央区加納町4-9-29 ☎331-6814
パシフィックアトラス神戸ビル3F

スナック S T I L L
中央区中山手通1-4-13 ☎332-5759
東門会館

KOBE
うまいもん &
ドリンクMAP





絲瓜炒蝦球

車海老と中国の食用へちまの炒めもの

夏にお勧めのこの一品は、車海老と中国の食用へちま、ふくろたけの炒めものです。へちまのグリーンと海老のレッドが色鮮やか、おいしさ満点です。



— 広東料理 —
神戸元町別館牡丹園

本店／神戸市中央区元町通1-11-3 協和埼玉銀行北側小路西入る

☎ (078) 331-5790・6611 営業時間：平日 11時～14時30分・17時～20時（ラストオーダー）

土・日・祝日11時～20時（ラストオーダー）水曜日定休

千里阪急店／豊中市新千里東町1-5-1 北大阪急行・千里中央駅前 千里阪急百貨店5F

☎ (06) 832-1990 営業時間：平日 11時～19時（ラストオーダー）

日・祝日 11時～20時（ラストオーダー）木曜定休

食文化 対談

インターナショナルな調味料 “お酢”は健康への第一歩

村上和子さん（ジャーナリスト）

笹田傳左衛門さん（マルカン酢株式会社取締役社長）



マルカン酢本社にて。昔の資料を見ながら話がはずむ。

村上 今、食酢の種類というのは、どのくらいあるんですか？

笹田 食酢は世界中にある調味料です。そしてその原料は、その国にあるお酒の原料と、ほぼ同じなのです。日本でしたら米、イギリスなら麦というふうに。食酢はお酒を発酵させてできるものですから、その歴史もお酒と似ています。村上 ということは種類もお酒の数だけあるということですね。

笹田 そうです。又、外国にもお酢があるというと驚かれる人がいますが、ピクルスやマスタード、ケチャップなど非常に多くの調味料にも食酢は使われていますよ。

村上 世界で一番食酢を摂る国というのはどこですか？

笹田 詳しい資料はありませんが、少なくともアメリカは日本の二倍は取っているでしょうね。食べる絶対量の差というのもあるでしょうが……。お酢は取りすぎて悪いことは絶対ありません。お酢の効用として面白い物に、“疲労回復”がありますが、妊婦がすっぱいものを食べたくなったり、ス

ポーツ選手がレモンをかじりたくなるというのは自然に体が酸味を欲しているからだと思いますね。

村上 お酢にはあと、食欲増進、防腐の効用もありますね。ということはやはり食酢が一番うれるのは…。



「お酢も奥が深いんですよ」と
笹田さん。

笹田 夏ですね。暑いと皆さん、お酢をとりたくなるようです。

村上 アメリカではカリフォルニアに工場をお持ちだそうですね。あちらで一番良く売れるのはどの種類の食酢なんですか？

笹田 すし酢です。



「もっとお酢のロマンをPRしてみれば」と村上さん。

村上 すし酢というと、やはりお寿司に使うために…。

笹田 それが違うのです。私共も知らなかったことなのですが、彼らはすし酢をローカロリーのドレッシングとして、そのままサラダにかけて食べていたんですね。あちらではパーティが多いので、ど

んどんそれが口コミで広がっていったようです。

村上 マルカン酢さんとしては、先見の明があったわけですね。

笹田 実は、最初はあまり期待もせずに海外進出をしたのです。それが今では毎年2ケタの業績の伸び率なのでこちらの方が驚いています。アメリカという国は考え方が柔軟で何でも良い物はためしてみよう、という、未知な物へのロマンがあるんですね。

村上 ところで今回、六甲アイランドのアーバングルメポートで、飲食店を始めたそうですね。

笹田 そうです。創始者の名前をとった「勘三郎」というおいしいお寿司のお店です。目新しいものではなく、何年経っても変わりなく食されるものを、ということでお寿司のお店になりました。良い物をコッソリ、努力して認めていただくのが当社の体質なのです。

食酢づくりも、合理化するところ

としてはいけないところを考えると、常に本物を目指しています。

例えば粕酢は仕込みからの発酵を経て熟成、製品になるまで一年以上かかります。その時あくまでも人の手は微生物の手助けをする為にある、と常々考えているんです。

村上 社屋に入った時、ふわっとお酢の香りがして、「ああ、子供の時うれしかったバラ寿司の香りだな」と思いました。私の家では昔からマルカン酢を使っている母がよく温かい酢飯を寿司桶で冷ましていました。私が今とても健康なのも、きっと小さい頃から食卓に酢を欠かせなかったからですね。

笹田 無理にでも「食卓に一品酢の物を」。そうすれば絶対体にプラスになります。

村上 食卓に一本ボン酢を置けば、気軽に夏バテも防げますね。

(マルカン酢本社にて)



マルカン酢株式会社

〒658 神戸市東灘区向洋町西5丁目6番
TEL(078)857-0501 FAX 857-0507
フリーダイヤル：0120-041004

すし勘三郎

〒658 神戸市東灘区向洋町中2丁目13番
TEL(078)857-5563 FAX 857-5565
定休日：毎月第3木曜日(7・12月は無休)



Taste・Shopping



● アクセサリー・ブティック

透明感あふれる琥珀の輝きは、華やかで神秘的。夏のよそおいに、美しい彩りを与えます。

La POMME SINCE 1873

元町一番街山側 (078) 331-6195



● 額縁・画材・美術作品

トロピカルな色合いがとても楽しいカフェテラス。陽気なさがめきめき、今にも聞こえてきそう……。

末積製額

トアロード・大丸前 (078) 331-1309



● ティールーム

シックなムード漂う落ち着いた店内で飲むサイフォンコーヒー。くつろぎのなかに深い味わいが楽しめます。

 **LASSERE**
カフェ・ラッセル

神戸新聞会館1F (078) 221-8155



● しゃぶしゃぶ

食べることに熱中させてしまうお店がここ。コースメニューも充実しています。牛しゃぶしゃぶコース¥1,900より。

しゃぶしゃぶ倶楽部
yinyi

阪急三宮駅山側すぐ・ステラ三宮ビル4F (078) 322-3972

Taste・Shopping



● 温もりのある陶器

毎日使う食器こそ良いものを。
清水焼の夫婦茶碗を、ニューライフのスター
トに添えて。お祝いにも最適です。



陶芸 **古川軒**

三宮センター街1丁目
☎331-2813



● スターキハウス

店内は、シックで落ち着いた雰囲気。ここで
じっくりと、神戸ならではのスターキの妙味
を楽しめます。



スターキハウス
本場但馬牛

スターキハウス
コウベ

阪急三宮駅

JR三宮駅

阪急三宮駅山側 二鶴ビル3F (078) 332-6685



● 高級デリカテッセン

純ドイツ式・スコッチ式製法で作られたス
モークドサーモン、ハム、ソーセージ。神
戸らしい洗練された味をぜひ。

株式会社 **トアロード デリカテッセン**

〒650 神戸市中央区北長狭通2-6-5(トアロード)
Tel (078) 331-6535 FAX (078) 332-7374



手軽なブライスで本格的なイタリア料理が楽
しめる。やわらかい光に包まれた店内は、地
中海ムードたっぷり。
Time 11:30 ~ 14:30
17:00 ~ 21:30 オードリーストップ



ヴィンサント

中央区播磨町20-1
BLOCK30

ショッピングギャラリー
☎321-3100 水曜休

あふれる笑顔



長年培われた伝統の技が冴える、味わいの逸品「伝承の味」
そして、まったく新しいまろやか和風味の「芳醇」。
どちらも丹精込めて造りあげた、伊藤ハムの贈り物です。
お贈りする方のお好みに合わせて、お選びいただけます。



気持ち
ひびき
あう。

シルベスター・スタローン



伝承の味特選ロースハム/伝承の味特選ボンレスハム 5,000円 芳醇ロースハム/芳醇ボンレスハム 5,000円

テーブルに、涼が咲く。

- 「伝承の味」ロースハムの
ソテー3色ソース
- (1) 小麦粉をタネとすりおろした肉を、
トマトを加えて塩コショウをきき、
②をうりこんで塩コショウをきき、
ゆでた煮付けのブレンを加え、
塩コショウをきく。
 - (2) 小麦粉をタネとすりおろした肉を、
トマトを加えて塩コショウをきき、
②をうりこんで塩コショウをきき、
ゆでた煮付けのブレンを加え、
塩コショウをきく。
 - (3) 小麦粉をタネとすりおろした肉を、
トマトを加えて塩コショウをきき、
②をうりこんで塩コショウをきき、
ゆでた煮付けのブレンを加え、
塩コショウをきく。
- ④「伝承の味」ハムの間に、以上の3色の
ソースをはさみます。

伊藤ハム

静岡

マスクメロン



1株から
1個だけの
贅沢はおいしい。

1株から1個だけ。
という具合に、

静岡マスクメロンは、

ガラスの温室で贅沢に

手をかけて育てられています。

それが、ひとり占めしたくなる

あの甘さと香りの理由です。

ゴンチャロフは、

その快い美味そのまま

ゼリーに仕立てました。

ぜひ、

冷たくして召しあがれ。

KOBE
Goncharoff
ゴンチャロフ

美女が訪ねる

神戸

夏の味

かんぱん
庵主
あんしゅ



日野明実さん（左）と田地美和子さん

わが家感覚の家庭料理

田地美和子さん

日野明実さん

〈ゴンチャロフ
製菓係勤務〉

今月でちょうど開店一周年を迎えられた庵主さん。カウンターにはいつも大鉢に季節の惣菜や新鮮な魚料理が盛られています。これはすべて女主人の「金露」社長夫人、睦子さんによる手づくり料理。そのせいかお店というよりわが家感覚で居心地よく寛げます。美味なお酒を添えれば味わいも格別です。

写真は肉じゃが、たこ酢、こいも煮、青菜の煮びたし、ポテトサラダ、お通り。その他一品料理700円。

神戸市東灘区御影町御影字滝ヶ鼻一三三
五—メビウスビルB1F南 ☎078
(854) 1018 17時—22時 火曜日
定休



お昼の新メニュー誕生！



(写真は5名様用)

レディースコース

(男性もOK)

お一人様 ￥3,090

サービスタイム

AM:11時～PM:2時

(土日祝日除く)

MENU (7名以上は一品追加)

オードブル

フカヒレスープ

天ぶらの盛合せ

蝦のケチャップ煮

スプタ

五目ヤキメシ

芋のアメダキ

中国のお菓子

中華料理 神仙閣

神戸市中央区下山手通2-13-1

☎ (078) 331-1263

AM11～PM9 (オーダーストップPM8)

無休

やっぱり美味しい

武蔵のとんかつ



味
甲上
ム
サシ
ト
ン
カツ
の
味

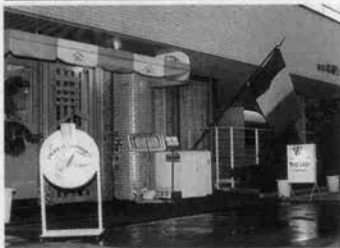
本店／三宮・センター街 TEL321-0634

さんプラザ店 TEL391-2427

西神そごう店 TEL992-1634

KITANO MAP

食事は楽しく気持ちよく
—ラックダヌシー—



この8月28日で5周年を迎えるラック
ダヌシー。おいしい料理はもちろん、店

内には気持ちよく食事をしてもらえるよう
にと、テーブルを彩る食器の1つ1つ、花、
クロスから壁に掛けられた絵にまで、オー
ナーシェフ本多さんのセンスと心遣いが感
じられます。それもこれもみんな、脱サラ
をしてからフランスでの修業4年間、北野
クラブ料理長を8年間も務めた本多さんの
経験の賜物。きめ細かなもてなしに気をつ
かいながらも、「フランス料理を特別なも
のと思わず、気楽に楽しく食べてもらいた
い」という本多さん。気さくであたかい
本多さんの人柄が感じられるお店という
のが、人気の理由の1つようです。

ランチ¥2,000〜 ディナー¥4,000〜



■神戸市中央区山本通2-2-13-101
☎078-242-3031 毎週木曜日定休
ランチタイム 11:30〜14:30
ディナータイム 17:00〜21:15

・フランス料理・

北野クラブ
神戸市中央区北野町1-5-7
☎222-5123
◇ランチタイム a.m.11:00〜p.m.2:30
◇ディナータイム p.m.5:00〜p.m.10:30

フランス料理

グラシアニ

中央区北野町4-8-1

神戸で最初に公開された異人館

うろこの家

中央区北野町2丁目
☎242-6530

異人館のユーハイム

ラインの館

中央区北野町2丁目10-24
☎222-6266
10AM〜6PM 第3木曜定休

神戸割烹

お可川

中央区北野町1丁目5-10
☎222-3511
11AM〜9PM

スキャンディナビア料理と
世界の民族音楽の店

ゴックスタッド

中央区山本通 回教寺院前
☎242-0131
5PM〜0:00AM 水曜定休

フランス料理レストラン

ラックダヌシー

中央区山本通2丁目2-13-101号
☎242-3031
ランチタイム 11:15AM〜2:30PM
ディナータイム 5:00PM〜9:15PM
定休 木曜

フランス料理

ゲーニー北野

中央区北野町2丁目7-18
リンスギャラリーB1F
☎242-2562

手づくりのシフォンケーキと
サンドイッチ
ファミリーア

北野坂ハウス

中央区北野町2(北野坂)
☎222-3535
11AM〜6PM 月曜休

ワインレストラン・ワインバス

ロ・テ・ロ・ゼ

中央区北野町4丁目9-14
☎222-3200

フランス料理

ビストロダリオン

中央区山本通2丁目13-6
☎221-2727
正午〜10PM 月曜休

英国風レストラン

St. George Japan

中央区北野町1丁目2-17
☎242-1234
11AM〜3PM(ランチタイム)
5PM〜11PM(会員制)

会員制レストラン
インターナショナルゾーン
CASABLANCA CLUB
カサブランカクラブ
中央区北野町3-1-6
☎241-0200・222-0182(パピロン)
入会金10,000円 お食事3,000円
17:00〜24:00 (フルコース)

料亭・ラウンジ

北野異人坂

中央区北野町2丁目9-22
☎222-2001
11AM〜6PM(ティー&ランチタイム)
6PM〜11PM(料亭&ラウンジタイム)

神戸北野坂 炭火のやきにく

炭火焼食房 **五番館**

中央区中山手通1丁目22-13
ヒルサイドテラス2F
☎272-0330 5PM〜11PM 無休

フランス料理

ジャン・ムーラン

中央区北野町2-16-8
☎242-4188
11:30AM〜2PM
5PM〜10PM 水曜休

坂のある町・散歩道

KITANO

